

## 長野県北安曇郡池田町議会

### 1 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

#### ○議会基本条例に則して

平成23年6月に議会改革等推進特別委員会を設置し、議会改革や議会基本条例制定に向け調査研究を行った。平成25年10月に議会基本条例を施行し議会運営に努めている。

#### ○予算執行などの監視機能

予算や決算については、特別委員会を設置し全議員で審議を行っている。審議結果は、施策提言を含め指摘事項や要望を、町へ提出し回答を求める。その回答を参考にして政策進捗状況の監視を強化している。また、新年度予算編成にあたり、先の回答書を参考にし、町長へ施策事業及び予要望書として提言し、より充実した事業執行の要求を行っている。

#### ○毎月議員協議会を開催している

毎月議員協議会を開催し、議員出席の諸会議報告や各常任委員会等の活動報告を行っている。各担当部署における事業進捗状況や課題・問題点の抽出など共通理解や議論を深めている。また、閉会中の継続調査を挙げ、必要に応じて行政担当者からの施策事業の説明を求め進捗状況の把握をしている。

#### ○町課題施策の調査研究

当町は平成29年4月「食育推進計画(平成29年～33年)」を策定した。当議会は「食による町づくり」はこれからの健康長寿社会には必須課題と考え、特別委員会を設置し条例策定も視野に入れ調査研究を進めている。また、少子化が叫ばれるなか相反するように、児童センターの放課後児童の過密化が進行し、町民からの声も挙がってきていた。そこで、振興文教委員会は、その現状把握や近隣町村視察、担当課との審議を行い改善を求め、来年度より新たな施策へ歩を進めるに至る。

#### ○議員の資質向上を目指して

行政施策課題には専門的な分野が数多くあり、なかなか理解し難い課題が山積している。

「こどもの発達障がいについて」や食育講演会など、専門担当職員や外部講師招致による研修会を町民参加も呼び掛け実施した。

#### ○町民の声を直接議会へ

平成28年3月定例会では、委員会における請願・陳情の審議に参考人の出席を求め、声を直接議会届けていただいた。

### 2 住民に開かれた議会

#### ○議会の「見える化」を。

議会基本条例に則し、平成25年度から開かれた議会・町民と共に歩む議会を目指して「町民の皆さんと議会との意見交換会」を、開催し、延べ12回・163人の参加をいただいた。平成29年度は行政側で町政懇談会を開催しているため町の諸関係団体、町商工会や女性団体連絡協議会との懇談会を計画している。議会活動や町事業進捗状況などを報告や住民要望をお聞きしている。この「町民の声」は議会で取りまとめ町への要望事項として提出し、その回答書を住民へお返ししている。また、議会だよりへ掲載し広報している。

#### ○休日議会の開催

平成25年12月定例会における初の休日議会開催から毎年1回実施し、平日に議場に足を運ぶことのできない方への傍聴を呼びかけている。また、傍聴者へは会期資料のほか、一般質問内容も公開し資料配布し、質疑応答の共有を図っている。

#### ○議会中継を公開

平成22年12月からユーストリームにより、本議会における中継を開始し、傍聴に来ることのできない方への便宜を図っている。

#### ○議会からの情報発信

町のホームページにより、議員名や会議録や議会だよりも併せて掲載し情報発信を行っている。会議録はホームページでの掲載のほか、議案書と共に調整し冊子体として保存している。また、町公共図書館へも行政資料として寄贈している。

議会だよりは、議会報編集特別委員会を設置し、議員5名で編集委員会を構成している。会期ごと年4回の発行である。「手に取り読んでもらえる議会報」をモットーに編集に取り組んでいる。定例会や臨時会の報告のほか、閉会中の委員会活動や研修会報告を掲載する。シリーズ「町民のみなさんに聞く」は好評を得ている。昨年からは議会報モニターを募集し発行号ごとにご意見をいただいている。記事内容は勿論、編集構成や色彩、活字の大小など厳しいご意見を頂戴している。読者目線での編集を心掛けている。

### 3 地域振興のために特別な取り組みをした議会

○町政は「日本一美しい池田町」「花とハーブの池田町」を目指している。毎月第3日曜日は全町清掃デーとして、県道沿線の歩道の除草作業、観光シーズン前の基幹道路のゴミや空き缶拾いを実施している。議会議員も積極的に参加し、町民とともに汗を流し美化・清掃運動をしている。また、年末の庁舎大掃除には議場や会議室の清掃を行い、施設に感謝し新年を迎えている。

○町主催の夏祭り「いけだあつ晴れ」にブースを開き、地元新鮮野菜などの提供を行いながら被災地支援のため募金活動を行っている。町民のみなさんとの交流や接点も広がり、貴重な機会となっている。